

第5回自治医科大学消化器内科学教室同門会会報（第5回）

初秋の候、皆様にはますますご健勝のことお慶び申し上げます。



さて、第5回同門会が平成16年9月4日（土）ホテル東日本宇都宮に於いて開催されました。昨年と同じホテルでの開催でしたが、昨年よりも広い会場を用意して頂き、さながら地域の医師会主催の研究会のようでした。70名弱の会員が参加し、充実したセミナーと楽しい懇親会が行われました。以下にその概要をご報告いたします。

（1）同門会セミナー

例年通り学位授与者（今回は2名）の研究発表と特別講演が行われました。今回の特別講演は、事前のアンケートから希望の多かったPETに関する講演を企画したわけですが、同門会として面識のある演者がいなかったため、本学放射線科教授杉本先生の推薦を頂き、国立がんセンター東病院の村上康二先生にお願いしたところ快く引き受けて下さいました。最近急速に普及しているPETの現状について消化器腫瘍を中心にきれいなスライドを交え分かりやすく講演していただきました。将来展望の中でPET-CTとvirtual colonoscopyを組み合わせた検査法が紹介されましたが、PETもここまで来ているのかと驚かされました。参加した会員の反響も大きく講演後は活発な質疑応答がなされ、とても勉強になった特別講演でした。

（2）同門会総会



昨年度会計報告の後、議題として以下の3点が検討されました。

1. 同門会費徴収方法変更の件

2. 会員枠拡大の件

3. 会則改定の件（別紙参照）

会費請求の煩雑さから、これまでの年会費制を廃止し、来年度から終身一括徴収（正会員 3 万円、準会員 5 千円）とすることで合意しました（団体会員は従来通り年会費制）。特例として、顧問と 65 歳以上の会員は会費免除、新入会員は会の雰囲気味わってもらうため 1 年目のみ会費免除とすることで了承されました。これから今年の会費を振り込む方は、年会費ではなく終身一括でお願いしたいと思います。なお、同門会発足時から今年度までの 5 年間、一度も会費を納めていない会員は、会則に従って除名となります。お心当たりのある方は会費納入をお忘れなく（会費の振り込み先は、同門会誌の事務局からのお知らせのページをご覧ください）。

会員枠拡大として、正会員、準会員、団体会員に加え、新たに個人会員を設けることで合意しました。対象として考えているのは派遣先やバイト先の院長などです。個人会員は団体会員と同様に年会費制となります。

昨年に続く今回の会則の改定は、会則の整備が目的で、第一章から第六章までの大項目を設けて見やすくし、これまで行われてきた会議（総会、幹事会）に関する内容を明文化しました。また、今後変更が予想される項目を細則に移すことで、総会の決議を待たずに幹事会で改訂できるよう配慮しました。

（3）懇親会

懇親会に先立って記念撮影が行われました。例年通り次年度の会誌に掲載します。

懇親会は会長の山中桓夫先生の挨拶、幹事の大岡正忠先生による乾杯で始まりました。参加者は 58 名で現医局員が 30 名、OB が 27 名で特別講演にお招きした村上先生もご参加下さいました。円卓 7 個の各テーブルには概ね同世代の先生方に座って頂きました。途中、新入医局員 3 名と後期研修生 3 名が、各々スナック写真のスライドとともに紹介されました。最後に菅野健太郎教授の挨拶があり会は終了しました。2 時間の懇親会でしたが、懐かしい会員同士、楽しい一時を過ごせたことと思います。

二次会の参加者も 20 名を、盛況のうちに会を終了しました。

事務局より

これまで同門会会員名簿としてお届けしていた冊子は、今回新たに同門会誌として生まれ変わりました。名簿の書式を大幅に変更したため初校が予想以上に遅くなり、誤字や記載漏れ、掲載順の間違い等、複数の会員の方にご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

今回の同門会誌創刊、会費の徴収方法一本化、会則の整備で事務局としてこれまで抱えていた課題が概ね解決できたと考えておりますが、今後も更に充実した同門会となるよう努力して行きたいと思っております。お気づきの点やご意見がございましたら遠慮なくお申し付け下さい。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成 16 年 9 月

自治医科大学消化器内科学教室同門会

事務局長 田野茂夫